石櫻新聞

第1面　大学推薦入学合格状況　部活動報告
第2・3面　修学旅行
第4面　2002年の出来事

平成15年1月31日発行
第121号
発行　岩手高等学校
盛岡市長田町
印刷　山口北州印刷㈱

大学推薦入学合格状況

12月8日の時点での状況は次のとおりである。

大学名	学部	人数
岩手大	工	1
北海道浅井学園大	人間福祉	1
千歳科学技術大	光化学	1
青森大	工	1
	社会	1
八戸工業大	工	1
弘前学院大	社会福祉	1
	文	1
岩手医科大	医	2
	歯	2
富士大	経済	4
盛岡大	文	4
	法	2
東北学院大	工	1
秋田経法大	経済	2
城西大	経済	2
千葉商科大	商経	1
中央学院大	法	1
東京情報大	総合情報	1
帝京大	理工	1
二松学舎大	文	2
日本大	生産工	1
	工	1
日本歯科大	歯	1
神奈川工科大	工	1
大谷大	文	2
同志社大	経済	1
	文	1
	法	1
	工	1
岩手県立産業技術短大		2

総評

岩手大学は、推薦入学では、一名だけの合格だった。他にも合格の可能性が高いと思われた人もいただけに、残念だった。一般受験で、合格を勝ち取ってほしいものである。

一方、岩手県立大学は、推薦入学での合格はなかった。厳しいといわざるをえない。

富士大学は、推薦入学の受験者のほとんどが合格した。

盛岡大学は、推薦入学の受験者のほぼ半数が合格した。

岩手医科大学は、医学部と歯学部にそれぞれ二名ずつの合格となった。喜ばしいことである。

そして、京都にある同志社大学は、四つの学部について、それぞれ一人ずつ、計四名の合格となった。

指定校制の場合、我が校からの入学者の活躍が、次年度以降の指定校枠に影響する。更に努力していただきたい。

部活動報告

剣道部

○第3回「99岩手総体」記念高校剣道錬成大会
10月26日(土)、27日(日)・二戸市総合スポーツセンター
対 小午田農林(宮城)
丸森 × メド 菅原康
中嶋 × ドメ 平馬
新田 × コメ 小田金
殿内 × メ 三浦
佐々木 × メコ 菅原健

○第45回県高校新人剣道大会
11月8日(木)、9日(金)
個人戦
佐々木秀夫 一回戦 シード
メメ × 伊藤(水沢工)
× メ 植田(花巻南)
団体戦
一回戦 シード
対 久慈工業
丸森 中村
中嶋 内間木
佐々木雅 メコ × 山崎
殿内 メメ × 宇部
佐々木秀 メメ × 中野
対 黒沢尻北
丸森 × メ 清水
中嶋 × メメ 及川
佐々木雅 × ココ 管
殿内 小原
佐々木秀 × メメ 照井

サッカー部

○県新人体育大会サッカー競技盛岡地区予選
10月17日(木)、18日(金)・県営運動公園
0 5 盛岡第一高
0 5 盛岡第四高

柔道部

○県高校新人柔道大会
10月18日(金)、19日(土)・大船渡市民体育館
団体戦 Aトーナメント
2 3 福岡工業高
個人戦
81kg級 金谷(2D) ベスト8
100kg級 中村(1D) 三位入賞

水泳部

○第10回東北高校新人水泳競技大会
10月25日(金)、26日(土)・秋田県立総合プール
水野大介 二百m背泳 予選 二組 五位
百m背泳 予選 三組 六位

ソフトテニス部

○第29回東北私立高校ソフトテニス選手権
10月18日(金)~20日(日)
団体戦
2 1 東北学院
3 0 日大東北
1 2 羽黒 ベスト8
個人戦 準々決勝
田山(2D) 0 4 谷地・野呂
中村(2E) (八工大一)

○第12回ジュニアソフトテニス大会
11月1日(金)~3日(日)
中村(1B) 中村(2E) ベスト8
佐藤(2D) 小野寺(1B) ベスト16
高橋(1D) 杉田(1B) ベスト16

卓球部

○新人戦卓球競技
10月18日(金)、19日(土)・一関市総合体育館
団体戦
2 3 黒沢尻工
シングルス
藤澤(2C) 3 1 小田島(専大北上)
0 3 高橋(花巻北)

テニス部

○第23回NHK杯オープンテニストーナメント
10月12日(土)~14日(月)・太田スポーツセンター
シングルス
男子A級
谷地隼人 準優勝
竹浪康弘 ベスト8
男子B級
石田孝啓 優勝
川崎龍一郎 準優勝
布台 容 第三位

○第23回東北選抜高校テニス選手権大会
10月18日(金)~20日(日)・太田スポーツセンター
優勝

○トヨタジュニアテニス選手権大会選考会
10月26日(土)・県営運動公園テニスコート
シングルス
川崎龍一郎 優勝

○春季ジュニアテニス大会選考会
11月2日(土)~4日(月)
太田スポーツセンター、県営運動公園
18歳以下 シングルス
竹浪康弘 優勝
石田孝啓 第二位
布台 容 ベスト8
吉田泰久、本宮知之、古館雅、鳥居和幸 ベスト16
18歳以下 ダブルス
竹浪・石田 優勝
布台・川崎 第二位
谷地彬人・藤澤亮輔(北松園中) ベスト8
16歳以下 シングルス
川崎龍一郎 優勝
谷地彬人 ベスト8
14歳以下 シングルス
工藤将、高橋圭滋 ベスト8

○第15回東北中学新人テニス選手権大会
11月15日(金)~17日(日)・福島市営庭球場
シングルス
谷地彬人 三位
ダブルス
谷地・佐藤遼 三位

バスケットボール部

○新人バスケットボール盛岡地区予選
10月16日(水)、17日(木)・滝沢東部体育館
代表決定戦
83 54 盛岡中央高
県大会出場
準決勝
72 92 盛岡第四高
地区三位

○第48回県高校新人バスケットボール大会
11月1日(金)
106 82 高田
97 63 福岡
56 100 黒工 ベスト8

バレーボール部

○第50回岩手県高等学校バレーボール大会盛岡地区予選会
10月9日(水)、10日(木)・紫波町総合体育館
0 (20-25、10-25) 2 盛岡北高
2 (25-6、25-9) 0 雫石高
0 (15-25、11-25) 2 盛岡第三高
2 (25-22、25-21) 0 盛岡第四高
代表決定戦
0 (16-25、11-25) 2 盛岡第三高

ハンドボール部

○第46回県高校新人ハンドボール大会
11月8日(金)、9日(土)
37 19 久慈高
33 20 水沢高
18 40 盛岡南高

○第45回県総合ハンドボール選手権大会
12月13日(金)
15 44 花巻クラブ

○第26回全国高校ハンドボール選抜大会
1月10日(金)
14 43 盛岡第四高

ラグビー部

○第35回県高校新人ラグビーフットボール大会
11月7日(木)、8日(金)
Bブロック
19 43 水沢工業高
17 18 盛岡北高

陸上競技部

○秋季陸上競技会
10月26日(土)、27日(日)・みたけ運動公園
八重樫祐介 八百m 2分1秒49 三位
川村元裕 やり投げ 45m27 三位

絵画部

○第25回県高総文祭美術工芸展(第40回県下高校美術展)
11月14日(木)
立体部門
秋葉文弘(2E) 特賞
絵画部門
秋葉 入選
小田島圭(2B) 入選
佐々木祥(1D) 入選
伊藤俊平(1D) 入選
デザイン部門
阿部祐二(3D) 入選
小田島 入選

将棋部

○県高文連盛岡支部将棋順位戦
10月12日(土)
盛岡第四高
A級
松岡諒太、岩泉聡 三勝二敗
C級
中野拓哉 三勝二敗

○第21回県高文連将棋新人大会
10月31日(木)、11月1日(金)
個人戦 A級
庵原佑(2D) 準優勝 東北大会、全国大会へ
澤口竜一(1D) 三位
※東北大会へ
岩泉聡(2A)
熊谷崇宏(2D) ベスト8
団体戦
A級 庵原、川村、岩泉 優勝
※六連覇
松岡、澤口、熊谷 準優勝
B級 菅野、村上、佐々木 準優勝

○第3回東北地区高校将棋新人大会
12月21日(土)、22日(日)
澤口竜一(1D) ベスト8

○第17回全国オール学生将棋選手権
1月10日(金)
庵原 佑
澤口竜一 決勝トーナメント進出

石割桜

○冬

冬は、日本でも一番冷える季節だ。そして、雪が降り始める頃でもある。雪は、ある一部の人には喜ばれるが、そうでもない人々もいる。なぜなら、雪かきなどやらなければならないからである。この雪かきは自分のためにもなるが、他人のためにもなる。確かに、雪の冬には嫌な面もある。しかし、スキーやスノーボードなどで遊べる時期でもある。ダイアモンドダストなど美しいものも見られる時でもある。

冬は、朝起きるのが辛い時期ではないだろうか。暖かいフトンでぬくぬくしているのが何とも言えないような気がする。冬は、空気が乾燥して、静電気がよく起きる。あれは嫌だ。しかし、空気が乾燥しているから、星空がきれいに見えるのではないだろうか。

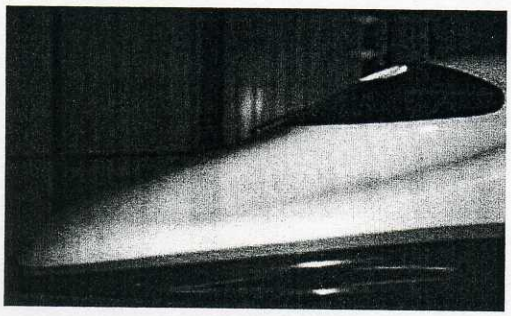
冬は、嫌な面もあるが、楽しい面も多い。冬は静寂な白銀の世界。雪の下、土の中では、新しい生命が生まれる季節。春が来るための大事な季節でもある。

Dec.10～Dec.14 ——→ 2002

修学旅行

京都　奈良　大阪

1st DAY　西へ移動

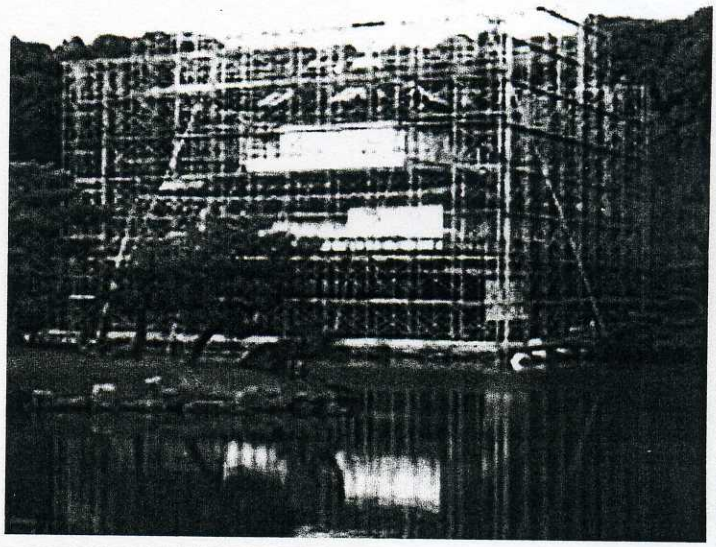


はやての勇姿

12月1日に開通した八戸新幹線のはやてに乗って東京に向かいました。去年までは盛岡が始発だったので安心して乗車することができたのですが、はやては八戸発で盛岡は途中乗車の駅なので、十分な注意が必要です。しかし、待ち時間が6分なので少しは余裕がありました。

いよいよ修学旅行が始まりました。

2nd DAY　京都



工事中の金閣寺（T_T）

いよいよ最初の見学地である金閣寺を訪ねました。今年は屋根の葺き替え工事のために鉄骨で覆われていましたが、シートで覆われることもなく何とかその姿を見ることができました。しかし、20～30年に1回という工事を見ることができた生徒達はある意味では運がいいといえるのかもしれません。

高校　修学旅行

十二月十日から十四日まで、京都、奈良、大阪へ高校二年生が修学旅行に行ってきた。その感想を幾つか紹介する。

まずは、手短なものから。

思い出　T・H

一日目は、新幹線はやてに乗った。あまり広くなかった。そして、乗り換えて、ひかりに。

いろいろと乗り物系に乗ったので、ちょっと酔った。京都駅に着いた。南の方は暖かいと思っていた。しかし、寒かった。金閣寺に着いた。パイプ金閣だった。そして、一日目が過ぎていった。

二日目は、寺まわりだった。いろいろまわったので、もう思い出がごちゃごちゃで思い出せない。

三日目は、ユニバーサルスタジオJPNだった。そこには、東京ディズニーランドをちょっとかぶっているアトラクションも多々あった。よく濡れた。

四日目は、遂に来た自主研修。班行動なので、いろいろな所に行ったと思う。大阪がメインな旅で、大阪城やDOUTONBORIまわりの旅だった。ジャンジャン横町なんか、もう絶対飲んでると思ってしまう人もいたくらいで、大阪はやはり恐い所だとつくづく思った。

五日目、最後の日にふさわしく、清水寺に参った。

この修学旅行はとても貴重な体験だった。これからも、この経験を活かして頑張っていきたい。

もう少し詳しく紹介したい。まずは、新幹線の様子である。

駄文 in 新幹線　I・K

修学旅行。実に良い響きである。この単語と共に浮かぶ光景は、着慣れた制服に身を包み、舞い散る桜にやたらとすがすがしい笑顔をした男女の団体である。偏見だが、そうである。そうであれ。

だがしかし、私の妄想は、凍ったバラのごとく砕けた。

修学旅行決行日、十二月十日……。

「冬かよっ！」

いや、高校では当然のことらしいが、少なくとも中学までは春であったので……。

岩手高等学校出発。

「男子校だったよ！」

と、分かりきっていることであるが、やはり突っ込んでおきたいところである。

こんな調子で一路京都へ……。と、そんな中、新幹線に乗るやいなや、早速問題が発生した。

「あおい……。」

そう、暑いのである。ここは南国か！と思わせるほど（いき過ぎである）暑かったのである。飲料を用意していなかった私は、とりあえず、お手洗いへ行くことにした。用を済ませて手を洗う。ある程度蒸留されたような（つまり、濁っていない）水が手を滴っていく。砂漠でオアシスを発見した気分である。生つばものである。がしかし、蛇口の隣りにはとても残酷な一文が、

【飲料水ではありません】

ドラを叩くような音と共に、私の目から黒い部分が消えた。

「……中水道か……」

最近覚えたての新しい単語をつぶやき、ふと時間を見る。東京までまだまだである。何か飲み物を買おうと決断し、シートへ戻った。

少しして売り子の女の人がやって来た。隣りに座っていたトムがミネラルウォーター五百ミリリットル百四十円を買った。

「水かよっ！」

しかも高いし、他に何かないかとたずねると水百四十円、ダカラ百八十円、コーラ百四十円と言われた。ときたら買うのは当然。

「コーラください。」

「百四十円になります。」

トンと置かれたペットボトル。何の疑いもなく五百ミリリットルと思っていた私は、その異常なスリムさに目を見張り、ラベルを見ると、

「三百五十ミリリットルかよっ！」

結局、だまされるオチであったが、バカと言うなかれ、Kもだまされた同志である。私と彼は二度と車内では買うまいと誓いを立てた。

そして、滞りなく、いやメチャクチャ酔ってましたが、東京に着き乗り換えである。はやてを降り、歩きながら、

「うえ、酔ったぁ気持ち悪い～」

と言うと、隣りを歩いていた見知らぬオバさんが、

「酔ったの？アメでもなめたら？」

と優しく声をかけ私に二つキシリトールガムを差し出してくれた。

「ガムだよっ！」

などと突っ込めるハズもなく、

「ハァ……どもっス。」

と酔いにまかせて受け取る（本当に酔っていた）。

都にも親切な人はいるんだなぁ。いや旅行者か？それはさておき、早速一個ガムを口に入れいただく。心地よいミントが口に広がり、少しばかり頭が楽になったような気分になった。運よくに素などは含まれていなかったようである。生粋の優しい人だったようだ。感謝である。

ひかりに乗車する。はやてより広いシートに感動したものである。

（後略）

次に、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの様子である

USJでしどどに…　T・K

（前略）

三日目。ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）で遊ぶ日だ。まさにメインイベントだ。ここではアトラクションの感想などを紹介しよう。

最初に入ったのは（正式名称は忘れたが）ターミネーターのやつだ。これは、飛び出す映像と実際に人がやるのを合わせたようなやつだ。これは、最後に全員の椅子が落ちるのに、意表を衝かれた。

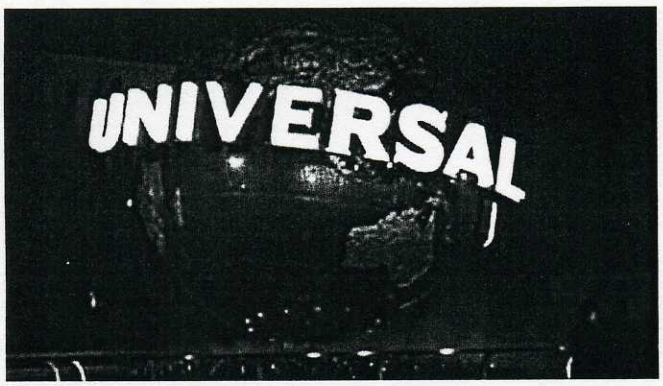
次はバック・トゥー・ザ・フューチャーだ。これは、まさにメインディッシュだった。

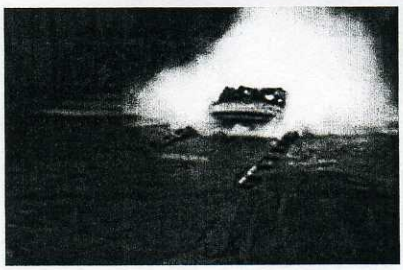
3rd DAY　奈良

奈良公園の名物の鹿

今日はA組～C組（A班）とD組～F組（B班）に分かれて行動です。A班はまず奈良公園内でクラス写真をとりました。その後、シカにせんべいをあげたりしながら東大寺へ向かいます。

4th DAY　大阪





ユニバーサル・スタジオ・ジャパンといえばやはりこれ

今日はユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ行きました。大阪までの移動中にウィスキー工場、梅田スカイビル、大阪ドーム、淀川などを車窓から見学しました。ジュラシックパーク・ザ・ライドではカッパを着てもズボンが濡れたり、パレードではいろいろなキャラクターに会ったりと楽しい時間を過ごしました。今年は昨年より遅い時間まで滞在したので、綺麗なイルミネーションを見ることができたり、ライトアップされたUSJのシンボルマークで記念写真を撮ったりすることができました。

その次はジュラシック・パークのやつだ。これは最後に高い所から落ちて水がかかるのだが、水は全部顔に前からかかったので、カッパは無駄だった。

次はジョーズのやつだ。これは船に乗って見るのだが、これに乗っているスタッフが、その人によってテンションが違うので、笑えた。あと、ここでも水がかかるのだが、椅子が濡れていたり、水が足元に流れてきたりと、地味に濡れたので、カッパは無駄だった。

その次は、ウォーター・ワールドに行った。ここでは、ショーをやるのだが、前に行って水がかかるのより、そのかかっている人を見るほうがおもしろかった。

（後略）

そして、自主研修で学んだことを紹介しよう。

大阪の町で…

T・N

（前略）

四日目、自主研修で大阪に行った。一つ気になったことは、午前中から居酒屋で飲んでいるおっちゃんが大勢いたことだ。彼らは、他のやることがないのだろうか？それとも……いや、そんなはずはない。とにかく、お好み焼きと鮪焼きが美味しかったのでよしとする。

（中略）

最後に、私が思ったことは、岩手はものすごく平和なところだということだ。昼間から飲んだくれているおやじもいないし、やかましくないし、町はそれなりにきれいだし……。

そんなこんなで、月曜からはまた学校に行かなくてはなりません。はあ……。

清水の舞台

今日唯一の見学場所であり修学旅行最後の見学地にもなる清水寺へ行きました。清水の舞台は非常に高く、京都の街が一望できます。音羽の滝、アテルイの石碑の横を通り自由行動となりました。バス駐車場までの間には多くのお土産屋さんがあり、最後のお土産選びをしていました。

5th DAY　帰途

2002年の出来事

昨年の出来事を振り返ってみる。

1月

・15日、UFJ銀行が発足する。
・23日、雪印食品が牛肉を偽装していたことが発覚する。
・29日、鈴木議員ともめていた田中外相らが更迭される。

2月

・9日～米国・ソルトレークで冬季オリンピックが開催される。

3月

・26日、辻元議員が辞職する。

4月

・1日、再編みずほ銀行でトラブルが続発する。
・6日、学校週五日制が本格的に実施される。
・8日、加藤紘一・元自民党幹事長が議員辞職する。

5月

・8日、中国・瀋陽の日本総領事館内に駆け込んだ北朝鮮亡命者を中国警察が連行する。
・28日、防衛庁の情報公開請求者リスト問題が発覚する。
・31日、サッカーW杯開幕。

6月

・12日、消しゴム版画家ナンシー関、死去。
・14日、サッカー、対チュニジア戦。
・18日、サッカー、対トルコ戦。
・19日、鈴木宗男議員があつせん収賄容疑で逮捕される。

7月

・11日、大雨。
・12日、中国製ダイエット食品で死者。
・26日、医療制度改革関連法が成立し、来年四月から患者の自己負担が三割になる。

8月

・2日、二〇〇四年度から新紙幣を導入する。
・5日、住基ネット稼働。
自衛隊のLANデータ流出。
・18日、前沢町で老夫婦を孫ら高校生四人が襲い、水沢署に殺人未遂容疑で逮捕される。
・29日、東京電力などで原発損傷隠し発覚。

9月

・1日、出直し長野知事選で田中氏再選。
・9日、宇多田ヒカル、結婚。
・14～16日、福岡県で立てこもり、姪が死亡。
・17日、史上初の日朝首脳会談、金総書記「拉致」認め、拉致被害者の半数以上が死亡の回答。

10月

・8日、ノーベル物理学賞に小柴昌俊博士。
・9日、ノーベル化学賞に田中耕一氏。
・15日、拉致被害者五人が帰国。
・23日～、ロシア、チェチェン独立派が劇場を占拠するも、特殊部隊に処理される。
・25日、民主・石井紘基議員、刺され死亡。
・30日、巨人が日本一、松井秀喜選手大リーグへ。

11月

・14日、積雪。
・27日、業務停止の岩果が自己破産。

12月

・1日、東北新幹線、盛岡―八戸間、IGRいわて銀河鉄道、開業。
・16日、イージス艦出航。

予餞会

二月十日、高校三年生を送る予餞会が行われる。アトラクション上映されるのは「少林サッカー」である。

昨年上映され、ご覧になった方もいるだろう。「少林寺拳法」と「サッカー」の異色の組み合わせを最新のCG技術と香港伝統のワイヤーアクションで映像化し、かのクエンティン・タランティーノ監督をも唸らせた作品である。香港映画史上ではナンバーワンヒットであるという。

卒業生の皆さんには、この上映をただ楽しんでもらうのではなく、枠や規制にとらわれない思い切った発想と行動力で、卒業後の世界に向け大きく地面をけり出せる勇気を得て欲しいと思う。

今年の成人式

ここ数年、成人式での新成人の狂乱ざたが報道されてきた。

今年も、どうなることかと注目していた。

沖縄では、やはり、大変だったようだ。酒を持って会場に来る新成人を青年団が抑えている場面を見た。

珍走団のようなものが日中の商店街に出没している場面も見た。

しかし、その他の所では、大事にいたらなかったようだ。

ここ数年の成人式のみともなさを見てきた新成人が、ああいうふうにはなりたくない、と考えて、まじめに取り組んだのだとすれば、よいことではないか、と思う。

今年は アトム誕生の年

今年、二〇〇三年は、故手塚治虫が描いたマンガ「鉄腕アトム」のアトムが誕生することになる年だという。マンガは、一九五一年から連載が始まったらしい。つまり、今から五十二年前には、二〇〇三年という年が、人型ロボットが活躍しているはずの未来だと思われていた、ということなのだ。実際には、アトムのような

ロボットが活躍するまでにはなっていない。しかし、カメラ付き携帯電話などは、五十年前に人々が想像した以上の小ささになっているのではなかろうか。また、あやしげなところもあるが、クローン人間が誕生しているという話もある。こちらは、五十年前に人々が想像もしていなかったことかもしれない。

東北新幹線 盛岡八戸間開業

十二月一日、東北新幹線の盛岡と八戸の間が開業した。

このことで、通学に影響の出て来る人もいるだろう。なぜなら、それまでに利用していた東北本線の列車は使えなくなるからだ。

その代わりに、第三セクターのIGRいわて銀河鉄道が開業する。

しかし、今までよりは、運賃が高くなってしまうようだ。

また、列車のダイヤもこれまでとは違うものになるだろう。

それでも、新幹線を使ったら、もっと高くついてしまう。

新幹線は、全席指定という話だったが、一部の区間だけ、立ち席券というものが発売されているらしい。指定席でない券だとしても、やはり金額は高くなるようだ。

ちなみに、東北新幹線「はやて」の座席は、東海道新幹線「ひかり」に比べて、狭いらしい。

いろいろと厳しいようである。

最近のニュースから⑦

北朝鮮問題を考える

二〇〇二年はいろいろあったが、やはり、北朝鮮の拉致問題が最大のニュースだったように思う。

昨年九月、朝鮮民主主義人民共和国（いわゆる北朝鮮）の金正日（キム＝ジョンイル）が、日本人が拉致されていた事実を認めた。長い間疑惑だったことが、少し明らかになった。そして、拉致被害者の数名は日本へ帰国した。このころから、北朝鮮に関する報道が増えてきた。また、北朝鮮が核を持っていることについて、アメリカ合衆国は、イラクとともに、危なっかしさを感じ、いろいろと動いている。

こうした報道を見て、次のような疑問を持った人もいるようだ。

なぜ、北朝鮮の人々は、キム＝ジョンイルを熱狂的に支持する（ように見える）のか？

はたして、北朝鮮とアメリカ合衆国は、戦争をするのか？

そのとき、日本はどうなるのか？

これらの疑問に答えつつ、北朝鮮の問題を考察する。

○なぜ、北朝鮮の人々は、キム＝ジョンイルを熱狂的に支持する（ように見える）のか？

短く答えるならば、宗教のようなものだといえよう。そもそも、キム＝ジョンイル（キム＝イルソン）の父である金日成（キム＝イルソン）が現在のような北朝鮮の体制を作り上げていった。以来、指導者を崇拝させるような宣伝が日夜続いてきている。だから、北朝鮮の人々は、その宣伝の影響を強く受けているのだ。また、指導者を批判したら、殺されてしまう、ということもあるのだろう。

○はたして、北朝鮮とアメリカ合衆国は、戦争をするのか？

戦争をしない、とは断言できない。アメリカのブッシュは、イラクや北朝鮮を「悪の枢軸」と呼んで、何とかしようとしている。もちろん、世界の国々が注目しているから、アメリカとしては、すぐに戦争をしたりはできないだろう。しかし、旅客機テロへの報復をしたように、アメリカの人々の間に戦争をすべきだ、という考えが出てくれば、戦争もしかねないだろう。

○北朝鮮とアメリカが戦争をしたとき、日本はどうなるか？

巻き込まれることになる。両国の間にあるから、何も影響が無いということはありえない。

以下は、北朝鮮問題に関する考察である。

今も、日本中で北朝鮮の拉致問題は騒がれている。

拉致された日本人は数名が帰国した。しかし、ニュースからは、この問題への政府の積極的な対応があまり見られない気がする。中には、被害者にパソコンを与えて、使い方を教えたり、お金をあげたり、就職させたりと様々なようだが、それは問題への根本的な対応ではない。

そもそも、北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）は、日本に対して、本当の謝罪をしていない気がする。北朝鮮では、拉致を特定個人がしたことだとしているけれども、やはり、国が代表してきちんと謝るべきではないだろうか。

そして、この拉致問題を解決しなければ、一月中旬のニュースのように、新潟の港に拉致とは関係の無い北朝鮮の船が来ただけで馬鹿騒ぎになってしまう。

日本の政府は、この拉致問題に何か効果的な対処をしているのだろうか。日本のメディアは、視聴率のためだけに、北朝鮮の事情をおもしろおかしくニュースにして、日本の政府のしていることについて、実際のところは何も分かっていないかもしれない。

北朝鮮と日本の関係をより深くし、拉致だけでなく、他の問題についても対処する必要があると思う。

日本人は表面だけを見てそれを信じ、中身まで知ろうとする人は少ないと思う。

選挙演説の時でも、特定の人を否定したり、騒いでいれば、メディアが採り上げ、テレビを見ている人は、その表面だけを信じる。

北朝鮮問題についても同じことだと思う。北朝鮮ばかり批判して、自分達のしてることは棚に上げていると思う。北朝鮮をどうこう言うよりも、日本が変わらなければならないのではないだろうか。

編集後記

編集後記にかえて

前期出版委員長

三年A組　菊池和人

私は二年間出版委員長として活動してきましたが、本当にこの二年間は、たくさんの出来事があったように思えます。思えば、私が出版委員長になった時から、大変な出来事が始まっていたのではないか、と思います。

出版委員長になった時は、まず最初に何をすればよいかわからず迷いました。しかし、そんな時に助けてくださったのが、外舘先生でした。外舘先生には、本当にこの二年間お世話をかけました。しかし、そのおかげで私も何とか委員会になじんでゆく事ができましたし、委員会活動も活発になってゆきました。

ほかにも、大変だと思った出来事はありますが、その中でも特に大変だったのは、『石櫻』の制作です。これは、委員会のみなさんや先生方のご協力もあり、完成する事ができました。『石櫻』が完成した時は、本当にうれしく、心から喜びました。最後になりますが、次の委員長にも、これからがんばってほしいと思います。今まで、お世話になった委員や先生方、誠にありがとうございます。これからも読みやすい新聞を作っていってほしいと思います。

執筆者

3A　菊池　和人
2E　竹花　秀樹
2F　佐々木弘樹
2C　佐々木要祐
ほか